

敦賀火力発電所 2号機 木質バイオマス混焼発電の計画について

平成18年5月30日
北陸電力株式会社

当社は、地球温暖化防止の観点から、新エネルギーの積極的な導入を経営の重点方策として掲げ、木質バイオマスの利用について研究や実証試験（平成16年5月24日～6月11日）を進めてまいりました。

このたび、新エネルギー導入の一環として、敦賀火力発電所2号機において、石炭の一部を木質バイオマスで代替し、混合燃焼して発電することといたしました。

木質バイオマス：「バイオマス」とは、「再生可能な、生物由来の有機性資源（化石燃料は除く）」のことです。木質バイオマスには、主に、樹木の伐採や造材のときに発生した枝・葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮や木屑などの種類があります。なお、敦賀火力発電所では、製材所等から発生する樹皮や木屑を利用する計画です。

1. 混焼発電計画

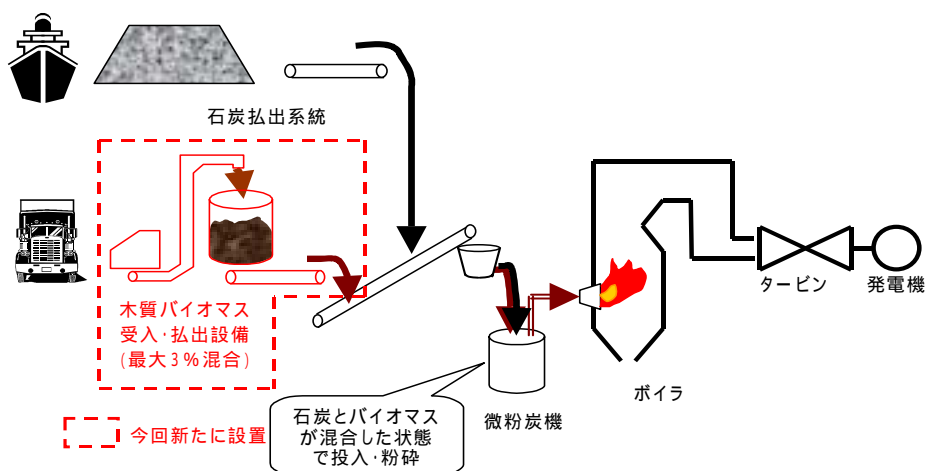
- (1) 対象設備：敦賀火力発電所2号機（福井県敦賀市、平成12年9月28日運転開始、出力70万kW）
- (2) 木質バイオマス利用量：年間1～2万トン程度
- (3) バイオマス発電電力量：1,250万kWh/年（1.5万トン利用した場合）
- (4) CO₂削減量：約1.1万トン/年（1.5万トン利用した場合）

2. 導入スケジュール（予定）

- (1) 基礎工事：平成18年 7月～平成18年11月
- (2) 機器据付：平成18年12月～平成19年 4月
- (3) 試運転調整：平成19年 5月～平成19年 6月
- (4) 運転開始：平成19年 7月～

3. 設備概要

木質バイオマスを燃料として受け入れ、運炭コンベア上で石炭と混合し、敦賀火力発電所2号機の微粉炭機で石炭とともに粉碎のうえ、バーナで燃焼します。



以上